

ハローワーク下関 就職支援業務報告（令和7年度）

1. 所長による分析（業務運営の総括）

（1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

当所の有効求人倍率は、1.5～1.7倍台で推移しており、多くの産業で人手不足が深刻化しています。このため、今年度は求人者支援の強化、求人・求職者双方のマッチングの強化に取り組みました。

求人者支援の強化として、求人充足会議については、会議出席者のみが支援をするのではなく組織全体で支援ができるよう実施要領の見直しを行い、継続的に取り組んで参りました。また、職員による事業所訪問については、職員1人あたり4回以上の目標を掲げ、求人票以上の情報の収集、求人内容の見直し提案、求人条件緩和指導に取り組みました。訪問者は統括職業指導官と若手職員がペアを組み、若手職員の人材育成にも努めました。

求人・求職者双方のマッチングの強化としては、双方により多くの出会いの場を提供するため、人手不足分野を中心とした各種イベントを積極的に開催しました。介護・医療分野については、7月29日に「介護補助者のしごと説明会&医療事業所説明会・個別相談会」、10月10日に「介護職のたまごセミナー」、また、11月の介護デーとして、11月13日に介護に医療を加えた「医療・福祉の合同就職面接会」を開催し、介護デーにおける面接会としては過去2番目に多い32事業所、求職者68名の参加がありました。運輸分野については、5月30日に「タクシー&トラック試乗会説明会・個別相談会」、警備分野については、山口県警備業協会と連携し、6月23日に「警備業の個別相談会セミナー」、3月6日に「警備業界セミナー」を開催しました。建設分野については、9月26日に「電気工事等のしごと個別相談会」、保育分野については、2月13日に「保育士のための保育説明会&個別相談会」を開催しました。開催にあたっては、開催案内だけでなく、開催後も参加事業所数、求職者の参加人数を掲載したものを掲示し、ハローワーク利用者に取組の成果をPRしました。

（2）前年度の課題を受けて今年度サービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

オンラインが急速に進展し、求職活動においては若年層を中心に一般的となっている中、ハローワークにおいては未だ利用者が少ない現状を踏まえ、オンラインサービスの強化に取り組みました。

オンラインの入口となる求職者マイページの開設を促進するため、昨年度に引き続き求職者マイページ開設セミナー・活用セミナーを毎月開催するとともに、初回登録時、窓口において開設手順、使い方を丁寧に説明しました。また、マイページ開設のメリットを感じてもらうため、マイページのメッセージ機能を活用し、お役立ち情報、イベント情報など週1回ペースでお届けしています。令和8年2月の求職者マイページ利用率は48.6%となり、令和7年3月時点に比べる6.9ポイントアップしました。

また、在職中、子育て等の理由により、ハローワークに来所できない方に対応するため、「オンライン相談」の周知、活用促進に努めました。また、出前ハローワークとして、7月25日、8月8日に外部会場にて未就学児から小学生とその保護者を対象に相談会を開催しました。

職業訓練説明会については、ハローワークに来所しなくとも、オンラインで参加できるよう令和6年10月31日からハイブリッド型式で開催しています。

(3) その他の業務運営についての分析等

年度当初から新規求職者の減少が続いています。このため、ハローワークが行う就職支援サービスを広く地域の皆様に知ってもらうため、LINEを活用し、週1回ペースでお役立ち情報、イベント情報などをお届けしています。記事作成にあたっては、「一目でわかる」に心掛けています。また、下関市が令和6年3月に立ち上げた地域情報提供サイト「しもしもっ」を活用し、定期的にお役立ち情報、イベント情報などをお届けしています。

当所は「マザースコーナー」を設置していますが、未だ認知度が低いと認識しており、今年度は当コーナーの積極的な周知に取り組みました。具体的には市、市教育委員会、商業施設などに出向き、ポスターの貼り出しやチラシの配架依頼など積極的な周知に努めました。また、市内各地の子育て支援センターにて出張相談を実施し、子育てをしながら働きやすい求人情報のほか、職業訓練等のハローワークのサービス、各種セミナー（オンライン参加可）に関する情報を提供し、マザーズコーナーの利用を呼びかけました。

就職準備が整っていない方、コミュニケーションに不安を抱える方に「しものせき若者サポートステーション」が行う支援サービスを知ってもらうため、本所及びハローワークプラザ下関において、毎月1回「サポステ出張相談会」を開催しています。

紹介件数は新規求職者の減少幅以上に減少していますので、「初めてハローワークを利用する事業所の求人」、「1年以上ぶりにハローワークを利用する事業所の求人」を情報提供強化指定求人として、若年求職者を中心に積極的に求人情報の提供を行いました。

障害者の雇用促進については、令和7年4月から除外率が引き下げられ、令和8年7月から法定雇用率が2.7%に引き上げられることから、障害者雇用に関する理解と定着に関するノウハウを広く普及させ、より一層の雇用の促進を図ることを目的として、1月29日に「障害者雇用促進セミナー」を開催しました。今年度は前年度のアンケート結果を踏まえ、障害特性や配慮事項について、障害者就業・生活支援センターの活用術にポイントを置き、開催しました。

(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

当所の有効求人倍率は、この1年1.5～1.7倍で推移、また、職種別にみると大きな偏りが生じています。次年度においては、引き続きハローワークに求人を出していただいた求人者に対する充足支援、課題を抱える求職者に対するきめ細かな就職支援を通じ、マッチングの強化に取り組んでまいります。特に人手不足分野に対する充足支援については、年間を通じて医療・介護・保育分野を中心に事業所訪問を積極的に行い、人材確保に努めてまいります。

2. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3. マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職割合	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	⑧人材不 足分野の 就職件数	②障害者 の就職件 数	④ハロー ワークの職 業紹介によ る就職水河 期世代を含 む中高年層 (35歳～59 歳)の不安 定就労者・ 無業者の正 社員就職件 数	⑨生涯現 役支援窓 口での65 歳以上の 就職率				
令和7年度目標	3,498	3,270	36.7%	81.0%	93.0%	1,145	226	243	87.0%				
令和7年度実績	3,029	2,957	31.7%	90.6%	89.6%	1,071	227	315	88.3%				
目標達成率	86%	90%	86%			93%	100%	129%	101%				

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。